

2026年5月13日
SCSK株式会社

「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2026」 企業文化の変革部門 最優秀賞を受賞

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、キャリアオーナーシップ経営 AWARD 実行委員会事務局(パーソルキャリア株式会社内)が実施した「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2026」において、「企業文化の変革部門 最優秀賞」を受賞しました。



1. 「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2026」について

本アワードは、はたらく個人の自律的な成長により、企業の持続的な価値向上を目指す取り組みを、発見・共有・集合知にしていく活動です。キャリアオーナーシップを発揮する人材を「可視化し」「増やし」「事業や組織の成長とつなぐ」取り組みにより、「個人と企業の新しい関係づくり」を推進する企業を表彰し、人的資本を最大化する実践知を広く紹介することを目的としています。

SCSK は Well-Being 経営を土台に、人材価値の最大化とキャリアオーナーシップを長期的な視点で結びつけ、CDP 制度を“育成管理“から“Design”へと捉えなおし、社員自身がありたい姿を描き、上司は思考を引き出し後押しする役割に変化させている点、また、学びを支える豊富な社内制度と結びつけることで、社員一人ひとりの学びと挑戦を日常の行動として根づかせている点が評価され、企業文化の変革部門 最優秀賞に選ばれました。

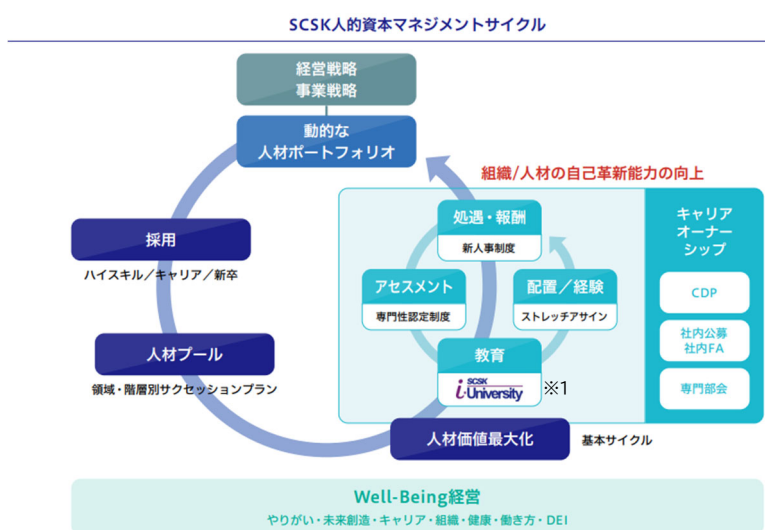
2. SCSKの取り組み

SCSK は、2030 年に向けて「総合的企業価値の飛躍的な向上」を基本方針に掲げ、その実現に向けて「人材価値最大化」を重要な経営テーマと位置づけています。IT サービスを主力事業とする SCSK にとって、一人ひとりの人的資本(人材力・技術力)は事業競争力の源泉です。一方、事業環境や技術の変化が加速する中、会社や上司が成長の方向性を示すマネジメントでは、社員の主体性や成長意欲を十分に引き出すことが難しくなっていました。

こうした課題に対し、SCSK は原因を「制度の不足」ではなく、「社員が自ら考え、意思をもって行動しにくい構造」

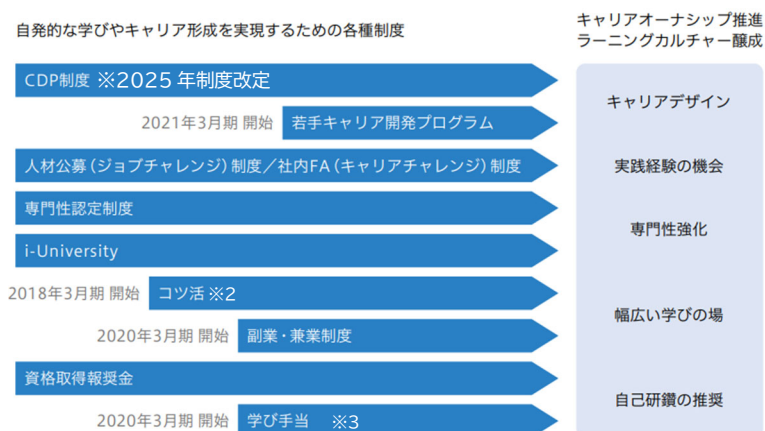
にあると捉え直しました。その上で、“キャリアオーナーシップ”を、社員の思考と行動を pp 転換する中核的アプローチとして位置づけ、人材価値最大化を実現するためのエンジンとしています。人事制度の刷新に先行し、2025 年度から CDP(キャリア開発)制度の進化や学びを自ら選択できる環境整備、上司がメンバーの思考を引き出し、主体的な行動を支援するマネジメントへの転換を進め、2026 年度からは挑戦につながる人材流動の仕組みをさらに促進していきます。これらを制度と運用の両面から一体で進めることで、事業戦略を支える人材の行動変容を後押ししています。

“キャリアオーナーシップ”を人材価値最大化のエンジンとして位置付けた「SCSK 人的資本マネジメントサイクル」



※1. SCSK i-University: SCSK における全社教育プラットフォームであり、200コース以上の研修を提供

自発的な学びやキャリア形成を実現するための各種制度



※2. コツ活: 「コツコツと自己研鑽を重ねることが、勝つ・克つためのコツ」という考えのもと、社員の自己研鑽を可視化・応援するプラットフォーム

※3. 学び手当: 社員の学びを支援することを目的として、原則すべての直接雇用社員に支給する手当

今後も、社員一人ひとりの主体的な学びと挑戦を起点に、人材価値向上を企業価値向上へと結びつける好循環をさらに加速させていきます。キャリアを「会社に委ねるもの」から「自ら描き、行動するもの」へと転換する取り組みを通じて、成長領域や戦略分野への挑戦を促進し、変化に強く持続的に成長する企業基盤の構築を目指していきます。

なお、本件に関連し、人的資本経営の推進に向けた人事制度改定のプレスリリースも発表しております。

https://www.scsk.jp/news/2026/pdf/20260501_3.pdf

関連情報

「キャリアオーナーシップ経営 AWARD 2026」特設サイト

<https://co-consortium.persol-career.co.jp/com-award/index.html>

「キャリアオーナーシップとはたらく未来コンソーシアム」特設サイト

<https://co-consortium.persol-career.co.jp/>

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進・広報本部 広報部 栗岡

TEL:03-5166-1150